

オンライン講座「歴史から学ぶ女性の人権」アンケート結果

課長職 22人中 14人参加、アンケート記入9人（女3人・男6人）

文面はそのまま記入しています。

1 今回のテーマと同様のセミナーを受講したことはありますか？

- ・ある 1人
- ・ない 8人

2 被災体験をしたことがありますか？

- ・ある 0人
- ・ない 9人

3 今回、受講して感じたことはありますか？（例えば、初めて知ったこと、意識が変わったことなど）

（女性）

- ・女性専用の避難所、確かに欲しいですね。
- ・災害の大小に関係なく、女性は被害にあうのだと知った。
- ・災害時の性被害が、この水俣市内でも発生したということを知り、愕然としました。

（男性）

- ・避難所といえば、皆で協力し合うというイメージであるが、性被害があるというのは初めて知った。
- ・性被害が身近にあることに驚いた。
- ・性被害の現状など、マスコミで報道されないので分からなかったが、こんなにあるのかと思った。
- ・避難所では避難をきっかけに自分の家庭を客観視して、DV被害に気付くことがあることを知り驚いた。
- ・避難所生活の知らない被害が身近で多く起きていることに驚いた。
- ・災害時に女性や相談員さんの大変さがわかった。
- ・緊急時こそ、丁寧、落ち着いた態度で対応する必要があること！

4 受講して気づきがありましたか？

（女性）

- ・防災計画に女性の視点が入れないか。
- ・災害対応、防災は男性中心になりがちですが、女性の視点を入れる必要があると感じました。

（男性）

- ・講座であったような女性の視点、意思を取り入れるのは、今以上必要であるということを強く感じた。
- ・被災からの時間経過と共に心のケアに注力しないといけない。
- ・相談しやすい環境づくりが必要。（女性スタッフの配慮）
- ・女性や弱者にとって、自然災害と人災を受けることがある。

5 今後、プライベートや仕事にどう生かそうと思いますか？

（女性）

- 今年市役所内でもいくつか計画策定がありますので、女性委員を入れて、声を拾い上げていかななくてはならないと感じました。
- 女性専用の避難所ができるようになればと思う。
- 被災して大変な思いをされている方が女性であるため、さらにつらい思いをするようなことがないようできることが何かないかを考えました。

(男性)

- 避難所での対応に生かそうと思います。
- 幅広い目線でいろいろな人の意見を聞く事が大切だと思った。
- アドボカシー視点、エンパシーの向上を意識していきたい。

6 今回の講座を自分以外には、どなたに受講してもらいたいと思いますか？

同僚：7人 / 上司：3人 / 家族：1人 / 学生：1人